

## □ 要請番号 (JL74518B11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
キルギス	H114 理学療法士		個別	交替 2代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

## 2) 配属機関名 (日本語)

国立リハビリテーションセンター

## 3) 任地 (チュイ州アラムディン県タシュドボ村) JICA事務所の所在地 (ビシュケク市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス で 約 0.5 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1957年の旧ソ連時代に療養所として設立され、ソ連崩壊後1991年にキルギス国内におけるリハビリテーションの中核施設として再建された。同センターでは脳卒中や脳性麻痺、脊髄損傷等により機能障害を患った人たちへのリハビリテーションを行っている。13の診療科目があり、年間1万人が利用しており、全国各地から患者が入院・通院している。0歳から90歳の患者に対して、注射、投薬、物理療法、水治療法、マッサージ等の治療を行っている。また、患者への治療の他に、全国から医師や看護師を集めて、リハビリテーションに関する研修コースを開催している。年間予算は約1.2億円である。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

キルギスには国際基準での作業療法士、理学療法士の資格がなく、患者へのリハビリテーションは物理療法やマッサージなどのソ連時代からの伝統的な手法が中心であり、近代的な症状に応じた対応や運動療法、生活指導等は不足している。配属先では新しいリハビリテーションに関する考え方を学ばせようと、医師を積極的に海外の研修にも派遣しているが、職員全体の技能・能力向上まで達成していないのが現状である。初代の青年海外協力隊員(JV)は患者に対して個別のリハビリテーションを実施しつつ、同僚スタッフに対する理学療法の理解と普及に努めたが、後任JVもそれを継続することが期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚スタッフと協力して、以下の活動を行う。

- 入院・通院している患者に対して、運動療法および治療体操を行う。
- スタッフと一緒に治療を行ないつつ、彼らが様々な症例に対応できるように指導する。
- 家庭でもリハビリテーションができるように、患者・家族への指導を行う。
- 可能であれば、センターが実施する医師・インストラクター向けのリハビリテーションセミナーに参画する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

理学療法室(5部屋)、作業療法室、プール、マッサージ室(15部屋)、ベッド510床

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

医師1名、50歳代  
 運動療法インストラクター5名、40～50歳代  
 作業療法インストラクター4名、30～50歳代  
 マッサージ師20名、30～50歳代

5) 活動使用言語

キルギス語

6) 生活使用言語

キルギス語

7) 選考指定言語

**【資格条件等】**

[免許]：(理学療法士)

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：同僚スタッフへの指導が必要なため

**任地での乗物利用の必要性**

不要

**【地域概況】**

[気候]：(亜寒帯湿潤気候) 気温：(-20～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

**【特記事項】**

配属先は村落部にあるため、ホームステイをすることになる。現地語学訓練中にキルギス語に加えて、第2言語として自己紹介程度のロシア語も学習する。